

米穀部

令和元年産米の品質について

1. 生育の概要について

5月は概ね天候に恵まれ、県平均の田植え最盛期は5月16日で、平均より1日早かった。梅雨入り（6月7日頃、平均より5日早い）後は、低温・日照不足・多雨の状況が梅雨明け（7月25日頃、平均より5日早い）まで続いたが、その後は天候が回復し、出穂最盛期は8月9日で、平均より1日遅かった。8月下旬まで気温が高で推移した。

2. 品質の概要について

（10月10日現在）

予想収量及び作柄概況（9月15日現在 農水省より）

区分	10a 当たり 予想収量 (kg)	作況 指数	穂数の 多少	全もみ数の 多少	登熟の 良否
福島	565(前年 +4)	103	やや多い	やや多い	平均並み
中通り	545(+1)	103	やや多い	やや多い	平均並み
浜通り	529(+5)	103	多い	多い	やや不良
会津	608(+10)	102	やや多い	やや多い	平均並み

形質の概況	<ul style="list-style-type: none"> ・光沢は平均並み。 ・粒張りの程度や充実度は平均並みからやや劣っている。 ・乳白粒の混入が全般に平均より多く見受けられる。 ・基部未熟粒、背白粒に至らない粒の混入が見受けられる。
被害粒の混入状況	<ul style="list-style-type: none"> ・胴割粒は被害の程度が軽微で混入は少ない。 ・奇形粒の混入がわずかに見受けられる。 ・着色粒（カメムシ等）の混入が散見される。 ・発芽粒の混入は、あまり見受けられない。
未熟粒の混入状況	<ul style="list-style-type: none"> ・乳白粒の混入が平均に比べ全般的に多い。 ・青未熟粒の混入は少ない。 ・その他未熟粒（奇形粒には至らない粒）の混入が散見される。

畜産部

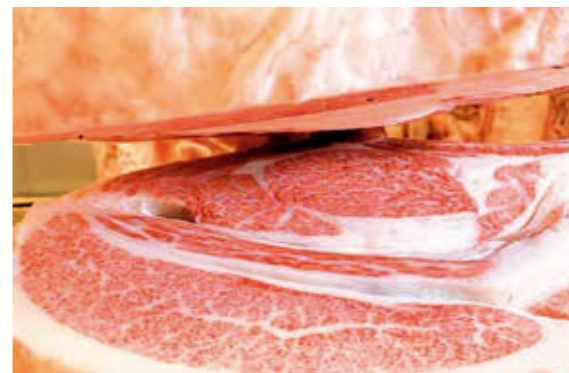
会津坂下町 佐藤 真也氏が
最優秀賞に輝く
第52回JAグループ福島肉牛枝肉共励会

JAグループ福島肉牛振興協議会とJA全農福島は、令和元年10月11日（金）に東京都中央卸売市場食肉市場において、第52回JAグループ福島肉牛枝肉共励会を開催しました。この共励会は、JAグループの生産農家から出荷される肉牛を対象として、「福島牛」の品質向上を支援するために毎年開催しております。

共励会の前日に品川の品川プリンスホテルでおこなわれた懇談会では、多数の購買者と生産者のあいだで、「福島牛」の品質と産地の将来について活発な意見交換がおこなわれ、翌日の共励会にむけた購買者の意気込みが感じられました。



最優秀賞の枝肉セリ価格



最優秀賞の枝肉セリ

当日の共励会では、和牛去勢和牛雌をあわせて80頭が出品され、4等級以上の上物率は95%を占め、全体的に好成績となりました。その中で、佐藤 真也氏の枝肉が最優秀賞の栄誉に輝き、審査講評ではきめ細かいサシで肉質に優れた良質な枝肉との評価を受けました。

この枝肉は福島県内のヨークベニマルの店舗で、11月2日～3日のあいだ、「福島牛チャンピオンフェア」と銘うって販売されますので、ご賞味頂ければ幸いです。

園芸部

全国初！JAと全農の共同施設「会津野菜館」の設立に向けての起工式

JA会津よつばとJA全農福島は、10月16日（水）に会津若松市（高野町）で、JA広域会津集出荷施設（以下、会津野菜館）の起工式を行い、JAグループや建築関係者など約50名が参加しました。

会津野菜館はJAと全農が共同で取得・運営する、園芸施設としては全国初の施設です。会津管内のアスパラガス・きゅうり・チェリートマトの共同選果を行います。

《会津野菜館設立の目的》

- ①各地に点在する集荷場から一元集荷によるロット拡大と品質の均一化・等質化
- ②共同選果場の設置による生産者の省力化・生産規模拡大
- ③拠点出荷場からの効率的な輸送・出荷体制の確立

会津野菜館では、年間アスパラガス約500t、きゅうり約2,500t、チェリートマト約200tの選果が可能で、会津管内出荷量の約50%を取扱います。



猪股孝二本部長玉串奉奠の様子



JA 会津よつば長谷川正市組合長挨拶



渡部俊男副本部長鍬入れの様子



完成イメージ図